

イオンの進出は 食肉センターの統合予定は

イオンは未定、

統合の結論はです



宮 蘭 博 香 議員

Q 町長は春先にイオンが当町に進出する予定だということを話されましたが、現在はどのような状況になっているのか、お伺いします。

A 現段階では、未定です。

Q 現在千葉県には、5か所の食肉センターがあり、東陽食肉センターと印旛食肉センターとの統合が平成28年度から千葉県食肉流通協議会で検討されているようですが、運営主体や場所等の問題で方向性が見えていないようですね、現在の状況についてお伺いします。と言いますのは、現在の東陽食肉セン



ターは独立採算制で行ってききましたが、施設は老朽化し、平成20年度末には1億6,046万円あった基金も平成29年度末では8,852万円に減っています。そして、実質単年度収支についても平成27年度から29年度まで3年連続で赤字に

なっているような状況であります。今まさに早急な対応を求められていると思われませんが、町長のお考えをお伺いするものです。

A 統合・再編の問題については、いつ結論が出るかわかりません。議員が言われましたように、老朽化した施設の問題や運営面の改善等、急がなければならぬ状況ですので、今後も引き続き、千葉県畜産課や千葉県食肉流通協議会など関係機関へ強く働きかけていきたいと考えています。

Q PTAバレーボール大会に参加するため各小中学校とも校長・教頭

先生をはじめ多くの教職員がPTAと一緒に練習を重ねています。そして、大会当日も各学校ぐるみで応援を行うなどPTAの一大事業であります。それであるにもかかわらず、町長及び教育長共に欠席するほどの公務があったのか、お伺いします。参考までに申し上げますと、平成28年度、29年度は町長及び教育長、両名とも出席していたと思

A 行事等が重複した場合もありますが可能な限り調整をさせていただきますので、ご理解をお願いいたします。

Q 町立学校の適正化に関する住民説明会で、南条小学校と東陽小学校の統合により、校名を光小学校とすることに對し、意見等が出ています。そのような対応をするのか、お伺いします。

A 学校適正配置等検討委員会への答申通り、南条小学校と東陽小学校の統合により、東陽小学校は光小学校に校名を変更する予定です。





森川 忠 議員

シルバー人材センター 補助金未払理由は

改善されるまで支払わない

Q シルバー人材センター補助金は通常定時総会後に支払われるが、未だ払われていないが理由と経緯は。

A 横芝光町シルバー人材センターは公益社団法人としての独立した法人格を有していて、その運営について町が関与することとはできないが、これまでにも仕事を依頼した町民などから事務局の対応に対する苦情やシルバー人材センター会員から登録しているが仕事が入らなくていないといった就労の公平性についての苦情などが町へ複数寄せられていて、その都度改善してもらおうようお願いしてきた。しかし、未だに苦情が多いことから補助金交付機関としてこの事態を看過できず平成30年2月14日付



けで要望書を提出、改善要請をしたが6月9日の定時総会で役員改選案は否決された。後日の総会で新役員が選出されたが、このような状況下で、まだ運営体制が改善されたと判断できず、補助金を交付することは妥当性・効率性に疑問があり執行は保留している。
Q 3月議会で予算が承認されたにも拘らず支払わないのは、町長の越権行為で、議会軽視ではな

いか。本来はどのような理由があるにしろ、議会で承認されたのであれば本年度は支払い、来年度予算からの対応で減らすなり、予算を付けない等検討をすべきと考えるが。

A 今後、運営の透明化や事業の適正化に向けた改善案等の報告を受けたのち交付決定の予定だ。それまでは町長判断として支払わない。

Q 東陽病院地域包括ケア病棟の実績と見通しは

A 当院では、高度急性期医療を行う中核病院等からの入院受入や介護施設等からの緊急入院を受入、治療とリハビリ等で在宅復帰を支援する地域包括ケア病棟を病棟単位ではなく病床、いわゆる部屋単位で設置している。利用率は87%と高く将来的には全100床の内20床程度まで増床したい。

Q 医師看護師等の充足についての現状と計画は

A 医師については確保が難しい状況にある。常勤医師は院長含め外科医3名、内科医は県からの1名の派遣を含め2名、整形外科医は2名です。改革プランでは内科医の2名増、整形外科医の1名増の10名です。看護師については多少不足はしているが来年度以降は奨学金制度を利用した看護学生が毎年入職してくるのである程度の目途が立っている。

Q 中学生議会を開催すべきと考えるが

A 平成27年6月に選挙年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げられました。中学生が地方自治を学ぶためには具体的な現場学習が必要と考えますが、中学生議会開催のメリットデメリットを考慮しながら両中学校と協議していきたい。

一般質問

局地的豪雨災害に強い町へ

治水対策及び

災害廃棄物処理計画の策定



秋鹿幹夫 議員

Q 成田空港の機能強化の部分を含めた排水機能は西日本豪雨のような規模にも対応できるのか

A 成田国際空港の現在のB滑走路の雨水について、東関東自動車道より南側は空港区域の排水系統を活用して取香川に排水されています。

建設予定のC滑走路の雨水について、本年4月に成田国際空港(株)が作成した「成田空港の更なる機能強化 環境影響評価準備書」では、「九十九里方向に南流する高谷川に排水する。排水量は「千葉県における宅地開発等に伴う雨水排水・貯留浸透計画策定の手引き」等を参考に、調整池を設けて流出抑制を行う。また、想定を超えるような大雨が発生した場合には、場外に溢れ出すことがないよう、空港内の窪んだ芝地等を活用して雨水を溜めることを検討しており、排水先河川の浸水影響の軽減と安全に配慮している。」と記載されています。

このようにC滑走路の雨水排水は、高谷川を経由して栗山川へ排出される計画となっております。排出量の抑制措置が講じられるとはいえ、今後、空港敷地の周辺で開発が予想されること、また、排水先の栗山川に未改修区間があることなどか

ら、C滑走路の雨水排水の影響が非常に懸念されます。そのため、本年1月25日

に川島議長はじめ町議会の代表4名と町長が、森田知事に対して、「栗山川及び高谷川の河川改修等の治水対策について」直接要望を行いましたし、8月17日に行われた「知事と市町村長との意見交換会」でも、町

長から発言いたしました。今後とも機会のあるごとに強く要望を重ねていきます。西日本豪雨災害の規模に対応できるのかという質問については、その雨量が一般的な河川改修時の想定雨量を超えることから、栗山川や高谷川に限らず多くの

河川で、対応できると断言することは困難であると考

えます。西日本豪雨災害では災害廃棄物の処理に関する問題が出ている。当町の処理方法は、平成25年度に策定された「横芝光町災害廃棄物処理マニュアル」に基づいて、処理を進めることとなっております。このマニュアルは、災害発生初期における具体的な行動に重点を置き作成されています。しかしながら、東日本大

震災や近年の災害における経験から、大規模災害時に適切な処理を確保するため、国は新たに「災

害廃棄物対策指針」の策定や廃棄物処理法の改正などを行い、これを踏まえ、千葉県は平成30年3月に「千葉県災害廃棄物処理計画」を策定し、県内全市町村で「災害廃棄物処理計画」が策定されるための必要な事項を示すとともに、「千葉県災害廃棄物処理計画」と併せて「国土強靱化地域計画」、「地域防災計画」とも相互に整合性を図ることと

しています。町としては「災害廃棄物処理計画」の策定に向けて、現在千葉県や環境省が開催している研修会に積極的に参加し、情報収集にも努めています。今後も県や各組合、構成市町と連携を図りながら、策定に向けた調査、研究を進めてまいります。

町としては「災害廃棄物処理計画」の策定に向けて、現在千葉県や環境省が開催している研修会に積極的に参加し、情報収集にも努めています。今後も県や各組合、構成市町と連携を図りながら、策定に向けた調査、研究を進めてまいります。





川島 富士子 議員

乳児用液体ミルクの備蓄を

今後の動向を踏まえ検討

Q 乳児用液体ミルクの備蓄を

A 乳児用液体ミルクは、容器内のミルクを乳幼児がそのまま飲むことができるため、災害時においても衛生的な水や煮沸消毒をする必要がないため、近年災害備蓄品として注目されています。当町では、平成29年度に粉ミルクを24缶購入し備蓄していますが、平成30年8月8日に製品の規格基準を定めた改正厚生労働省令が施行されたことから、液体ミルクの国内での製造・販売が可能となりましたので、製品の品質や価格等、今後の動向を踏まえ検討してまいります。

Q 学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を

A 6月18日の大阪府北部地震では痛ましい事故が発生したことから、6月20日に町内小中学校9校の緊急安全点検を行い、



ブロック塀を有する横芝小、上堺小、大総小については6月25日に再度、ブロック塀診断士による点検を行いました。点検の結果、横芝小と上堺小については児童の安全性確保のために既存ブロック塀を撤去し、フェンスに改修すべく所要の事業費を9月補正予算に計上

しました。また、各校周辺の通学路におけるブロック塀についても、7月に現地調査を行った結果、老朽化により傾いているもの、亀裂や破損が生じているもの

等、危険と思われる箇所が27か所ありました。これらをはじめ、個人所有のブロック塀の改修は、所有者に理解と協力を得る必要があるため安全点検について周知、お願いをしているところです。

Q 駅トイレの洋式化とエレベーター設置の進捗状況は

A 「駅トイレの洋式化の進捗状況」は、現在の男子用1基と女子用2基のうち、それぞれ1基を洋式に改修する工事で、12月の中旬までには完成する予定です。「エレベーター設置の進捗状況」は、JR東日本は、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に規定された「移動等円滑化の促進

- 《その他の質問》
- ・学校のICT環境整備について
 - ・避難所運営ガイド作製及び要支援者の避難について
 - ・不育症支援について
 - ・小児がんの早期発見について
 - ・ふるさと納税返礼品の見直しについて

に関する基本方針」に基づき、1日あたりの平均的な利用者数が3千人以上の駅について、平成32年度までにエレベーターまたはスロープ等の整備を進めておられます。横芝駅のように3千人未満の駅であっても地域の実情に鑑み、利用者の実態等を踏まえ、設置に向けて前向きに検討いただいている状況です。

乾草沼の環境保全対策は

関係各課とともに

慎重に検討



山崎 義 貞 議員

Q 乾草沼における環境変化は著しく、太陽光発電による山林伐採が進み、この沼に生息する希少なトンボ類の減少が進んでいる。

A 町のホームページにも沼の自然を載せて希少なトンボ類がいることをアピールしている。太陽光発電から沼の環境を守る対策を講ずることが必要と考えますが。



A 乾草沼周辺の土地については、池の部分は町の所有となりますが、陸地の部分については、ほとんどが私有地となっています。乾草沼周辺が、多様なトンボ類の生息地である

ことは認識しております。

乾草沼の環境については、町に詳細なデータもなく、太陽光発電施設等の開発による影響についても把握はできませんが、保全の方法等も含めて、関係各課とともに慎重に検討していか

ければならないと考えています。

Q 成田空港A滑走路利用時間延長による追加防音工事などのタイムスケジュールについて

A 具体的な時間延長時期について示されていないことから、今後関係者間で調整されるものと考えています。

なお、10月1日から始まる内窓設置工事は、9月中旬に対象地区に対して事前説明会を行います。

Q 国・県・NAAは四者協議会の合意により、住民合意が得られたとの認識です。町長も同じで

すか。

A 騒音下住民の厳しいご意見は十分に認識しています。確認書に「深夜早朝対策の更なる改善については、A滑走路の発着時間変更の状況等を踏まえ、



夜間飛行制限変更の段階的な実施を含め、引き続き四者で協議すること」との文言を追加していただきました。引き続き住民の理解が得られるよう努力してまいります。

Q 災害用井戸の確保や長時間停電時に活躍する発電機の確保についてどのように考えるのか。

また、防災行政無線の戸別受信機は、台風や集中豪雨などの緊急避難指示の役立つものです。希望者に対し戸別受信機の無償貸与を求めるものです。

A 防災設備として、各小中学校等の施設に防災井戸を16か所、災害用の発電機を27機保有しています。飲料水については、備蓄品及び給水活動で確保することとなっています。防災行政無線の戸別受信機については、受益者負担という観点から新規設置希望者の方には5千円の負担をいただいています。